

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう西大寺			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動ごとに部屋を分けるなど構造化された環境設定ができており、子どもが見通しを持って過ごせる環境づくりが徹底されています。クールダウン室や相談室の活用により、個別対応ができる体制も整っています。保護者評価でも「十分なスペース」「分かりやすい環境」とお声を頂いています。	毎日の朝礼・終礼で支援内容や気づきを共有し、支援の統一を図っています。記録もその日のうちに共有できるよう工夫しています。	職員配置を充実させ、より余裕ある支援体制づくりを進めます。
2	個別支援計画の作成・モニタリング・共有が丁寧に行われており、5領域を意識したスモールステップの目標設定がされています。職員間での打合せや終礼での共有も徹底され、チーム支援体制が機能しています。	自己選択・自己決定を促す支援として、始まりの会でやりたい活動を発表する機会を設けています。主体性を育てる支援ができています。	専門職（言語聴覚士等）の配置を検討し、専門性の向上を図ります。
3	保護者との信頼関係が非常に良好で、送迎時やアプリを通じた丁寧な情報共有が評価されています。「安心して通える」「楽しみにしている」という声が多く、満足度が高い事業所です。	地域交流にも取り組み、公園や児童館利用、体験会の開催など地域に開かれた運営を行っています。	家族参加型イベントや座談会を増やし、家族支援をさらに強化します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置について、従業者・保護者双方から「余裕が欲しい」という声があり、人員体制の強化が課題です。	人員確保が難しい状況があり、採用強化が必要です。	職員募集・育成を進め、配置の充実を図ります。
2	第三者評価を実施しておらず、外部視点での評価機会が少ない状況です。	外部評価は会社方針や制度面の影響があります。	外部研修や外部視点を取り入れ、質の向上につなげます。
3	アレルギー対応において医師の指示書取得ができておらず、今後の体制整備が課題です。	アレルギー対応は保護者聞き取り中心となっており、書面整備が不足しています。	アレルギー対応マニュアルや指示書取得体制の整備を進めます。